

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (大 塚) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
基 本 活 動	(3) てづくり工作	12		3	405	11	12		2		7	3	442	毎月1回実施。季節にちなんだ工作など、テーマに沿ってつくる。	子どもたちの集中力・創造力や器用さを身につけることができた。子どもたちの意欲や個性が引き出した。	
	(3) みんなあそび	12		10	526	34	26	1	5				599	毎月遊びを考え実施。参加者でひとつのテーマに沿って遊ぶ。	普段一緒に遊ぶメンバーとは違う、異年齢集団の中で遊ぶことにより、連帯感・仲間意識がめばえた。	
	(3) けん玉検定	12			121	1	1						123	毎月15日にけん玉協会の検定表にそって、けん玉検定を行う。	けん玉に興味を持ち、検定に合格しようと一生懸命、技を練習する子どもたちの主体的な姿がみられた。	
	(5) 1日消防士体験・消火訓練	1	4	4	18				8			1	35	山科消防署消防士指導のもと、乳幼児親子や小学生がホースを伸ばし、放水を行う消火体験を行う。前半は小学生向けに防火についての講義を行っていただいた。消防車の見学。	児童たちが防火についての知識を得ることができた。また、普段は近くで見られない消防車と記念撮影をしたり、放水など貴重な体験をすることができた。	
	(3) わくわく夏祭り	1	20	15	75	23	6	2	36		1	4	182	児童館内に射的コーナー、おぼけやしきなどの遊びのコーナーを展開した。	昨年度に引き続き、小学生もたくさん参加。メインのお化け屋敷はとも大好評だった。スペースが狭く、館内が窮屈状況となってしまった。人数制限を設けるなど対策を行う。	
	(3) ハロウィンお楽しみ会	1	17	21	22	2	2		21			1	86	前年度までのパレード形式を取りやめ、パーティー形式で行った。音楽療法士さんに協力していただいた他、小学生がダンスの発表など主体性をもって取り組んだ。	小学生を中心に多くの参加があった。乳幼児さんと小学生以上を分けたことで、年齢にあった取り組みをすることができた。	
	(3) おおつかクリスマスお楽しみ会	1	15	25	25	1	6	3	43			2	120	児童館内に工作コーナー、ゲームコーナーを展開。また事前に利用者の方から動画を募集し、シアターコーナーで上映した。サンタからプレゼントをもらった。	中学生の参加が充実していた他、民生さん・保護者ボランティアさんや音楽療法士さんの協力もあり、どの発表も盛り上がりを見せていた。	
	(2) わくわく夏祭りスタッフ会議	17				27	77							104	高学年スタッフとして季節に応じた夏祭りを、企画の段階から参画し、ジュニアリーダーの育成に繋げることを目標にした。	最後まで真面目に取り組み、当日は盛り上がりを見せ、それぞれの役割をやり遂げることができていた。
	(2) クリスマスお楽しみ会スタッフ会議	4			8	4	20							32	高学年スタッフとして12月、季節に応じたクリスマスお楽しみ会の開催に向けた企画を、計画段階から参画させてジュニアリーダーの育成に繋げる。	打ち合わせ、飾り付け等準備、リハーサルと忙しい日々が続いたがスタッフとしての役割を果たしてくれた。
	合 計	40	56	79	1240	103	153	6	115	0	8	11	1767			
進 活																
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
子ども育成機能 合 計		40	56	79	1240	103	153	6	115	0	8	11	1787			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (大塚) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数									内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア				合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生				大人
基 本 家 庭 支 援 活 動	(1) ①「おやこっぴー 火曜日クラス」	20	32					36	42		25	1	136	毎週火曜日に設定遊びを行う。登録制で実施。(第5週は除く)対象年齢はおおむね10か月～就学前。乳幼児とその保護者を対象に、体操・歌・手遊び・お出かけ・工作などの設定あそびを実施。季節感を取り入れたイベントも行う。	5月時点では参加者数も少なかったが、徐々に増えていき、後半は安定した参加者数となったため、お母さん同志でのコミュニケーションも増え、なごやかな雰囲気楽しく活動を行うことができた。
	(1) ①「おやこっぴー 木曜日クラス」	31	54					4	58		16	4	136	毎週木曜日に設定遊びを行う。登録制で実施。(第5週は除く)対象年齢は0歳～おおむね10か月。乳幼児とその保護者を対象に、体操・歌・手遊び・お出かけ・工作などの設定あそびを実施。季節感を取り入れたイベントも行う。	数自体は多くないが、安定したメンバーが参加された。少人数の中、穏やかに活動を行うことができ、この月齢の子どもたちにとって、ちょうどよかったかもしれない。
	(1) ①「おやこっぴー 水曜日クラス」	25	61					4	85				150	毎週水曜日に設定。登録制で実施。対象年齢は0歳～就学前。うた・手遊び・触れ合いあそび・体操などを行う。今年度は絵本の紹介やパネルシアターや母親向け工作などを取り入れた。	毎月定例の内容とすることで、保護者の方たちにも内容が分かりやすくなった。にこの森保育園と連携して行うにこにひろはも続けて行っていきたい。
	(1) ②「0歳児教室」	4	26						28				54	回数限定の0歳児親子の子育て教室。子育ての仲間づくりや悩みを共有、相談する場として設定している。1回目は「ふれあいあそび」、2回目は「おもちゃづくり」、3回目は「離乳食のお話」、4回目は「ベビーマッサージ」を行った。	0歳児教室には初めて子育てをするお母さんも多く参加され、育児への不安解消につながる当講座は利用者の方からも開催が望まれている。特に、離乳食の講義やベビーマッサージなど講師を招いての講座はニーズが高く、次年度も継続して行っていく必要がある。
													0		
		合 計	80	173	0				66		41	5		476	
推 進 活 動	(3)子育て家庭相談・援助 活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	7	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }				7	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			4 3	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { てくてく親子教室 }		
		件数 計	7	-				7	-			7			0
(4)子育てグループを育成 ・支援する活動	グループ名		構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題				
	「母親クラブ」														
	子育てアート教室		乳幼児親子8組	月1回当館遊戯室にて、乳幼児親子同士で制作活動を楽しむ。				おもちゃなど機具の貸し出し、施設を提供する。 製作の工程が難しい際は幼児さんの保育を行う。			楽しみにされている方も多く、お話をされながら雰囲気よく活動がされている。今年度は動きの少ない乳児さんが多く、制作しやすかったが、動きの多くなると、活動や保育内容の検討が必要である。				
(5)子育てと健全育成に関 する啓発活動	活動名		実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (大 塚) 児 童 館

地域	基	活動名	x	主 催	参 加 人 数						連携団体	成果と課題			
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合 計	
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
	(1) 地域住民との交流を促進する活動	地域実践活動	35	大塚児童館 東総合支援学校							70	35	105	東総合支援学校	社会性を学ぶため清掃活動、乳幼児クラブを中心に職員や地域住民とかかわり、実践的な場の提供ができた。東総合支援学校の学生さんたちが、社会関係性をまなぶ場として、貢献できた。
		合 計	35	-	0	0	0	0	0	0	70	35	105		
		活 動 内 容				活 動 人 数				成 果 と 課 題					
						中学生	大学生	大人	合 計						
	(2) ボランティア活動の推進	ボランティアの組織化と支援の連携 随時 実習生受け入れ（厚生学校看護学科・助産学科） 22回				80	7	87	介助ボランティアさんと支援を要する児童について、常日頃から意見交換をする場を持ち、共通理解、共通認識をモット様々な学校から、乳幼児や児童の様子について学びに来られる。児童館という施設の特長について知ってもらえることができた。						
		学習支援事業 5回				10		10	橋大学からキャリアゼミの一環として大学生が来館。小学生児童の夏休みの宿題などについて見てもらう。						
		音羽中学校 生き方探求 チャレンジ体験 4日間			16				16	音羽中学校から4日間、2年生の生徒さんが実習に来られる。児童館という施設をしてもらう良い機会となった。					
		合 計			16	90	7	113							
		連 携 団 体 等		連 携 内 容				成 果 と 課 題							
	(3) 地域との連携を促進する活動	大塚学区自治連合・各種団体	・各種団体児童館行事へ参画、協力。運営協力委員会などの打ち合わせ。				児童館自体の役割と機能、活動状況について、再確認していただいた。今後もより良い関係づくり、連携をしたい								
		大塚学区社会福祉協議会	・毎月児童館だよりを配布。児童館の運営にも協力いただいた。				地域の発展に協力できた。								
		各小学校・諸機関	・子どもの登下校、交通安全、日常生活における情報交換、催し物、行事に参加。毎月児童館だよりを配布。				各学校とは随時連携を図り、関係を深めることができた。今後もより良い関係づくり、連携をしたい。								
		大塚学区主任児童委員	・毎月児童館だより配布。毎月会議で児童館や地域の情報交換を行った。				児童館自体の役割と機能、活動状況について、再確認していただいた。今後もより良い関係づくり、連携をしたい。								
		大塚消防分団・山科消防署	・乳幼児親子や小学生に向け防災・避難訓練実施。				取組みを依頼することにより、児童館を知ってもらえる機会となり関係性が深まった。								
		山科区社会福祉協議会	・児童・生徒の社会福祉への推進。毎月児童館だより配布。 ・ボランティア保険登録				社会福祉教育推進に努めたい。								
		洛和会京都音楽療法研究センター	・子育て講演会や大型行事・イベントに参画、協力。				音楽療法士とのコラボ企画は毎回大好評である。今後も良いイベントを企画し、より連携を図りたい。								
		音羽中学校	・生き方探求チャレンジ体験学生受け入れ。毎月児童館だより配布。				今後もより良い関係づくり、連携をしたい。								
		東総合支援学校	・地域実践活動や共催事業を通じて、相互支援を行なう。				様々な事業を通じて、地域交流を深め体験の幅が広がった。地域関係機関と交流を深め、総合の発展に貢献することができた。								
		山科区役所保健福祉センター子どもはぐみ室	・地域子育て支援ステーションの会議に出席、合同行事参画。ポスター、チラシ、おたより、情報交換。山科学区での地域子育てで支援に貢献できた。				常に連携をとり、子ども育成において共に取り組めた。								
		鏡山保育所	・子育て講演会・講座打ち合わせ、協催、情報交換。毎月おたより交換。				地域子育て拠点事業協力を得て充実した子育て講演会、講座、ひろばを計画した。また広報物・情報交換により密な連携が図れた。								
		ヴェインテ	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。				意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。								
		にこの森保育園	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。				意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。								
		山科小山児童園	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。				意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。								
		若草保育園	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。				意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。								
ロマンティブ託児所	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。				意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。										
児童相談所	・被虐待児童の経過観察・見守り及び支援				被虐待児童の支援に向けての連携及び一時保護の実施										

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (大 塚) 児 童 館

地 域	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度	議題/取組内容		成果と課題
			大塚児童館運営協力会		大塚学区自治連合会 大塚学区社協 大塚学区民生協力委員 大塚小学校 校長 他		年3回	<ul style="list-style-type: none"> 児童館運営の方向性 児童館事業や行事の告知 協力依頼 情報交換 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な事業に協力いただき 取組みを通じて関係が深まった。 広報活動を充実させる。 広報誌を発行してステーション 事業の啓発と事業内容の報告を 行なった。
地 域	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	ネットワーク会議		にこの森保育園 大塚小学校 大塚学区民生児童委員		年8回 年11回	<ul style="list-style-type: none"> 合同企画運営検討 基幹ステーション職員研修内容 について 		<ul style="list-style-type: none"> 児童館大型行事の参画にとも なう乳幼児の区割りなどが明確 になった。 地域で活動する太田ちえ先生 をお招きした。支援を応援する 内容であり大変好評であった。
			会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題	
地 域	福 祉 社 会 機 能	(5) 地域への施設提供								
地 域	福 祉 社 会 機 能	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		
			児童館満足度調査アンケート	利用者の	児童館利用者	児童館	無記名アンケート	児童館利用者の率直な意見を調査し、事業を見直し新たな展開 を行なう。		
			児童クラブアンケート	利用者の	児童クラブ保護者・児童	児童館	無記名アンケート			

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(大塚) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより 「おおつかじどうかんだより」	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館利用者 ・学童クラブ児童 ・乳幼児クラブ保護者 ・地域住民 ・山科・醍醐地区の児童館 ・山科区はぐくみ室 ・山科区保健センター ・大塚学区社会福祉協議会 ・民生児童委員 ・京都市児童館学童連盟 ・大塚小学校・音羽中学校 	来館者配布 ホームページに掲載 うえぶさくら配信 町内回覧 児童館外玄関掲示 関連各諸機関郵送	児童館月刊行事予定 子どもの様子など	ホームページに掲載したり、月の行事を分かりやすく表示したりすることで、人気行事への参加を促すことができた。
	「一般行事ポスター」 子育て講演会、0歳児教室 母親クラブ（子育てアート教室）、ステーション事業、館行事などのポスター、チラシ	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館利用者 ・民生協力委員 ・乳幼児クラブ保護者 ・山科区はぐくみ室 ・山科区保健センター ・山科醍醐地域小中高等学校12校 	館内・玄関に掲示 山科区はぐくみ室へ配布 この森保育園に配布・掲示 民生協力委員へ配布 各町内掲示板に掲示 ホームページに掲載 学童クラブ児童に配布	子育て講演会、0歳児教室、母親クラブ ステーション事業 館行事の詳細案内や募集	より分かりやすく行事への参加者を募ることができた。
	京都市の児童館ホームページ 「おおつかじどうかん日記」のページ	随時	ホームページをご覧いただけるすべての方	ホームページに掲載	日々の児童館の様子（乳幼児クラブ・小学生）をブログ形式で掲載している。	HP更新のシステムの不具合もあり、更新したものが消えることもあったが、定期的に更新して様子をお伝えすることができた。
	京都市大塚児童館Instagram	随時	Instagramをご覧いただけるすべての方	Instagramに投稿	日々の児童館の様子（乳幼児クラブ・小学生）をブログ形式で掲載している。	Instagramの投稿を楽しみにして下さる方が多かった。子どもたちの様子をリアルタイムで見てもらえる他、Instagramを見て、遊びに来て下さる方も見られた。